

安芸高田消防署 北部分駐所(美土里町北) 消防ポンプ自動車が新しくなりました

このたび、北部分駐所に最新鋭の消防車を導入しました。この車両には「CAFS(キャフス)」という効率的に消火をすることができる装置が備えられており、緊急時の消火活動をより安全かつ効果的に行えるようになります。



CAFS(キャフス) 圧縮空気泡消火装置

水に少量の消火薬剤を混ぜ、圧縮空気を送り込んで泡を作り出す装置。放水後の泡は自然に消え、環境に優しいものになっています。

- メリット1 水の表面積を広げることで効率よく消火できる。
- メリット2 消火時の二次被害(水損)の防止に有効。
- メリット3 ホース内を通るのは軽い泡なので消防隊員の負担が軽減。



皆さん
の
安全・安心のために
頑張ります!

安芸高田市消防本部・安芸高田消防署 ☎42-0119・お太助フォン 42-3952 ☎47-1191



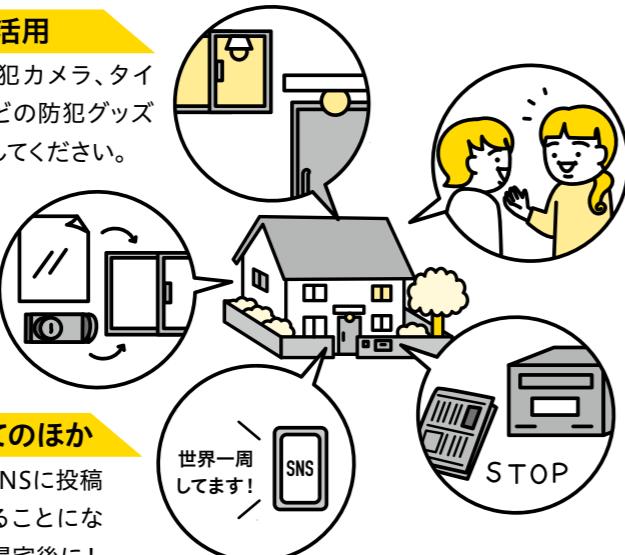
警察

「留守の気配」は見られています

年末年始は帰省や旅行で家を空ける時間が増え、空き巣被害のリスクが高まります。ちょっとした工夫でリスクを下げることができますので、しっかりと防犯対策をしましょう。

防犯グッズの活用

人感ライトや防犯カメラ、タイマー式の照明などの防犯グッズを積極的に活用してください。



地域で支え合い

信頼できる近所の方へ不在を伝えておくことで、異変に気付いてもらえます。

施錠は絶対

玄関はもちろん、窓や裏口など侵入可能なところは全て施錠してください。

SNS告知はもってのほか

旅行や帰省の予定をSNSに投稿すると不在を知らせることになります。旅行の投稿は帰宅後に!

安芸高田警察署 ☎47-0110 / 危機管理課 ☎・お太助フォン 42-5625

広島県警の安全安心アプリ「オトモポリス」地域の犯罪や不審者情報など防犯に役立つ機能を備えたスマートフォン専用アプリ ▶



安芸高田

あ
き
た
か
た

歴史

れ
き
しき
こう

国郡志御用二付下調書出帳 桑田村

(1819年)



シリーズ
「博物館コレクション」
第33回

安芸高田市歴史民俗博物館
学芸員 古川 恵子



毛もの類の項目には絶滅した狼や川うそ(ニホンカワウソ)が記載されています。昨年から問題になっている熊は書かれていません。虫之類の「くちなわ」とは蛇のこと。「農余浮儲」とは、農業の合間の収入源。家の数は126軒。

内容は、村名の由来、歴史、小字、村高、諸上納物、地形、溝、井手、風俗、社寺、古跡、特産品、動植物、人口、牛馬数など多岐にわたり、簡略化した「芸藩通志」よりも内容が詳細で、安芸高田市の当時の様子を知る上でとても重宝します。

今回紹介するのは、歴史民俗博物館で展示中の桑田村(現美土里町)の下調帳です。

この下調帳によると、村名は、むかし桑の大木があり、その跡が田地になつたことに由来すると語り伝えられています。

人口は595人で、男320人、女275人。風俗の項目には、正月4日からみのを編み、11日には「農具始」といってわら仕事、商売人は帳をこしらえていたことが書かれています。

現在、県の無形民俗文化財にも指定されている花田植についての記述もあり、その様子は華美ではないものの、現在と同じようににぎやかに行われていたことが分かります。

市内図書館で閲覧できる「高田郡史」の資料編には、旧高田郡内32の村の下調帳が現代の文字に翻刻され掲載されています。

江戸時代の1825(文政8)年、広島藩の事業で新たな地誌「芸藩通志」が完成しました。地誌とは地名、地形、交通、産物、風俗、習慣、伝承などをまとめた地域の基本データです。

この芸藩通志を作成するために各村から藩に提出されたのが「国郡志御用二付下調書出帳」(以下、下調帳)です。